

立冬を迎え、朝晩の冷え込みが厳しくなってきました。2年次生は21日（月）から中間考査が始まり、28日（月）には関西方面の研修旅行に出発します。1年次生は28日（月）から中間考査が、3年次生は25日（金）から後期末考査が始まります。小中学校ではインフルエンザが流行し始めているようです。うがい・手洗いなどはもちろんですが、予防注射の接種など、早めに対策をたて、楽しい研修旅行になるよう、試験で実力を十分発揮できるよう、普段から体調管理を心がけましょう。

## CCI（コスモス・カレッジ・インターンシップ）より その2・・・学ぶ意義を考える

先月に引き続き、9月30日（金）に1・2年次生を対象としたCCI（コスモス・カレッジ・インターンシップ）の感想文を抜粋して掲載します。各分野の最先端の学問内容にふれ、生徒のみなさんが、何を学び、何を考えたのか、是非、一読してみてください。

**看護学**（1年普通科） 私は今回の講演を聞いて、看護学のあり方、看護性について深く考えることができた。何のために看護師がいるのか、患者さんは看護師に何を求めているのか、今まで分からなかったことが少し明確になった。・・・今の大学での看護学の制度なども学ぶことができた。私が今回最も心に残っている言葉は、「私たちが何気なく過ごしている今日という日は昨日亡くなった人が痛切に生きてほしいと願った一日である。」という言葉だ。昨日亡くなった人が精一杯生きようとした今日を、私たちは亡くなった人の分まで生きなければならないと思った。ましてや自分から命を絶つなんてことは絶対にあってはならないことなんだと思った。看護という学問は生涯かけて学び続けられ、自分の探究心をより一層深め続けられると思った。

**薬学・化学**（1年普通科） 細胞の構造やDNA二重らせん構造はこのようなところにかかっていると知り、今の勉強も大切にしようと思いました。人体実験の前に動物実験でラットやマウスを使いますが、その時に、動物を犠牲にしないことも今後の課題だと思いました。薬を創るにはたくさんの課題があるため、今、自分たちの手元にある薬はたくさんの月日、費用などが関わっていることを知ることができました。これからチャレンジ精神を忘れず、自分の夢に向かって努力していこうと思いました。

**医療技術学**（1年理数科） 私は今まで、人の役に立ちたいから医師になりたいと思っていました。しかし、大学のオープンキャンパスや「科学者の卵」への参加を通して、人の役に立つ仕事は医師だけではないということに気がつきました。そんな中で、今日、病理について話を聞くことができよかったです。1つは、医学の中に検査技術学専攻があり、その中に病理という分野があることを知ることができたことです。医学の中にも多くの分野があることにとても驚きました。将来の夢を明確にするための第一歩となったと思います。2つ目は、病理に関わる仕事がどのようになされているか、どれだけ大変な仕事なのかということを知ることができたことです。・・・医療の発展にとって大切な、「目に見えないもの理解できないものを恐れない」ということは、医療だけでなく様々なことにおいても大切なことだと思います。これからこのようなことを胸に前へ進んで行きたいです。

**土木建築工学**（1年普通科） 建築物には長い歴史があって、今日の建築物になっていくのにたくさんの段階を踏んでいることを知って驚きました。古代エジプトの時代から建築についての知識や技術を持っていたということがすごかったです。それぞれの発展段階のそれぞれの建築物のよさがあり、すぐく考えられている設計になっていることを実感しました。

**物理学・天文学**（1年理数科） 実際に自分たちで「ミッション」について考えることで、より身近に話し合いの空気を感じることができました。また、話し合いの中で、思ったことをただ言うのではなく、自分で考えた根拠を言うこと、発言に責任を持つことが大切だと感じました。・・・私たちのグループは、エウロパの生命を確認することを達成目標に話し合いをしました。どんなことを確認すれば生命が確認できるのか？そもそも地球に持ち帰るのか？それとも現地で確認するのか？など多方面の意見が飛び交いました。エウロパの表面温度が $-140^{\circ}\text{C}$ で厚い氷に覆われているということで、ドリルを持っていくのかいかないのかを決めるのに時間がかかりました。また、私にとって面白かったことは、宇宙船の凍結対策と水温計の高水圧対策について意見がでたことです。自分ではまったく思い浮かばないことだったので、すごく新鮮な気分でした。（中略）大学生も同じようなことをしていると聞いて、少しだけ、身近に感じるすることができました。



**地球環境学**（1年理数科） 私は現在山岳部に入部しており、今年の6月に熊野岳に登りました。実際に行ったことがあり、まだ記憶も鮮明だったため、今回の講義内容は非常に理解しやすかったです。・・・講義では、蔵王の火口は長い年月をかけて変わってきているということでした。御釜の南側が昔の火口であったことを知り、よく見てみると崖のようになっていたため、興味を持ちました。1枚の航空写真から崖の位置や溶岩ドーム、昔の火口や舌の形をした溶岩などが見て取れ、探すのがとても楽しかったです。もっと見つけたいと思いました。私の部活でも、地形図やコンパスを用いて地図の読み取りを行ったり、登山道や登山道のカーブ等の位置を示す練習を行ったりするので、今回の内容はとてもためになりました。今まで以上に山に興味を持つとともに、地球環境学にも興味を持ちました。（中略）もう少しで新人戦です！今年の新人戦は山形神室に登ります！早く山に登りたい！と感じました。（進路部補足：山岳部は後日行われた県新人大会で優勝を獲得しました。）

**機械工学**（1年理数科） 理学と工学はどう違うのか。理学は発見。工学は発明。想像力と創造力が必要な工学部。今日教えてもらった研究のほとんどは、私たちの暮らしに関わりがあり、とても興味を持ちました。このような研究の始まりはちょっとした疑問から生まれるものだと感じました。普段の生活を少し別の視点から見て深く考えることによって、疑問を見つけ、考えを実現化する。そうやって今まで発明がされてきたのかなと思いました。

**電気通信工学**（1年普通科） 3Dモデリングを使って心臓の動きをシュミレーションすることで、医療に貢献することができるということは、今まで私が意識したことのない、映像技術の良さでした。また、教授に説明していただいたとおり、裁判で殺人などの事例を見せる場合、裁判員の精神面に配慮し、モデル化した場面を見せることができる技術によって、裁判員制度の問題点が一つ解決できるということに感動しました。

**農学・生物学**（1年普通科） 食肉の色を測定すると様々なことが分かるということに驚きました。非破壊分析をすれば一言で言っても様々な方法があり、スイカをたたいてその音で判断することもその一つだと知り、身近なところにあるのだということが分かりました。また、色を表す方法として機械を使って数値化する方法があることもわかりました。今まで色について詳しく考えてみることはありませんでしたが、食肉などの品質を測定することと密接な関係があるのだということが学べたので良かったです。